

京都大学文学研究科修士課程修了生アンケート集計結果

令和3年3月実施

京都大学文学部・文学研究科では、卒業時・修了時にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。修士課程修了生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

【結果の概評】

今年度は修士課程修了生 81 名に対して、71 名より回答を得た。回答率は 87.7%で、前年度 (92.5%) をやや下回ったものの高い比率を維持している。

回答結果の傾向は例年と大きく変わらない。(Q.04)「京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学学習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか」では、83.1%の方が「十分」あるいは「ある程度」自学自習の能力が養われていると回答した。また「あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか」(Q.05) という問いには、91.5%の方から「十分」または「それなりに」満足しているとの回答が寄せられた。文学研究科修士課程の教育がその役割をよく果たしていることがうかがえる。

Q.07「文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください」(複数回答可) では、「自分で問題を発見し、解決を図る能力」(71.8%) の選択率が最も高く、「専門的知識」(67.6%) と「専門分野の研究能力」(66.2%) がこれに続いた。文学研究科の専門教育が相応の成果をあげていることがうかがえる。

文学研究科のディプロマ・ポリシーの達成状況 (Q.09-12) については、「達成できた」「ある程度達成できた」を合わせた比率が、「それぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている」(Q.09) で 66.2%、「それぞれの専門分野において、原典や一次資料の分析に基づいてオリジナリティを有する研究を進める能力を身につけている」(Q.10) で 76.1%、「専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている」(Q.11) で 87.8%と、高い比率を保っていることが確認できる。一方、「研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている」にかんしては、前年度と同じく全体の半分程度の割合 (53.5%) に留まった。

【自由記述欄】

例年自由記述は多くない。特に研究・教育にかんする具体的な回答は少ないが、今年度は、英語以外の外国語の授業拡充をもとめる意見が寄せられた。また進路希望調査の改善を求

める意見もあった。

アンケート名 令和2（2020）年度修士課程修了者アンケート

部局 文学研究科

対象者数 81

回答者数 71

回答率 87.7

結果 (Q.01) あなたの出身大学・学部等についてお聞きします。

- A: 京都大学以外の日本国内の大学 (29票/40.8%)
- B: 京都大学の他学部、研究科等 (3票/4.2%)
- C: 京都大学文学部 (18票/25.4%)
- D: 日本以外の大学 (20票/28.2%)
- E: その他 (1票/1.4%)
- F: 無回答 (0票/0%)



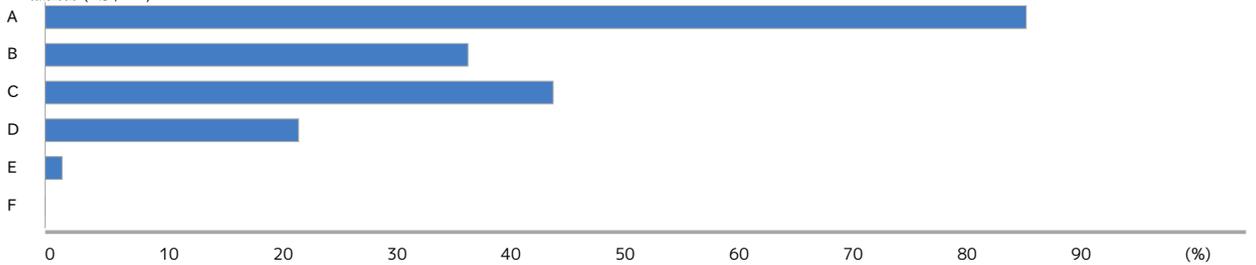
(Q.02) あなたが大学院へ進むことを決めたのはいつ頃でしたか？

- A: 学部入学後 (14票/19.7%)
- B: 系分属後 (2回生のとき) (2票/2.8%)
- C: 専修分属後 (3回生のとき) (20票/28.2%)
- D: 4回生になってから (28票/39.4%)
- E: 大学卒業後、社会に出てから (5票/7%)
- F: その他 (1票/1.4%)
- G: 無回答 (1票/1.4%)



(Q.03) 進学動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）

- A: あなたが選んだ研究分野についてより深く学びたいと思った。(58票/81.7%)
- B: 大学院での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。(25票/35.2%)
- C: 将来、研究・教育職に就くことを希望していた。(30票/42.3%)
- D: 企業等に就職する前に、もう少し学問を続けたいと思った。(15票/21.1%)
- E: その他 (1票/1.4%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？

- A: 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。(37票/52.1%)
- B: 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。(22票/31%)
- C: どちらとも言えない。(9票/12.7%)
- D: 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。(3票/4.2%)
- E: その他 (0票/0%)
- F: 無回答 (0票/0%)

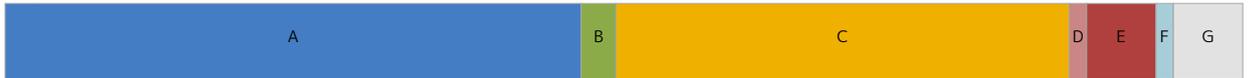


(Q.05) あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？

- A: 十分に満足している。(41票/57.7%)
- B: それなりに満足している。(24票/33.8%)
- C: どちらとも言えない。(4票/5.6%)
- D: 後悔している。(2票/2.8%)
- E: その他 (0票/0%)
- F: 無回答 (0票/0%)

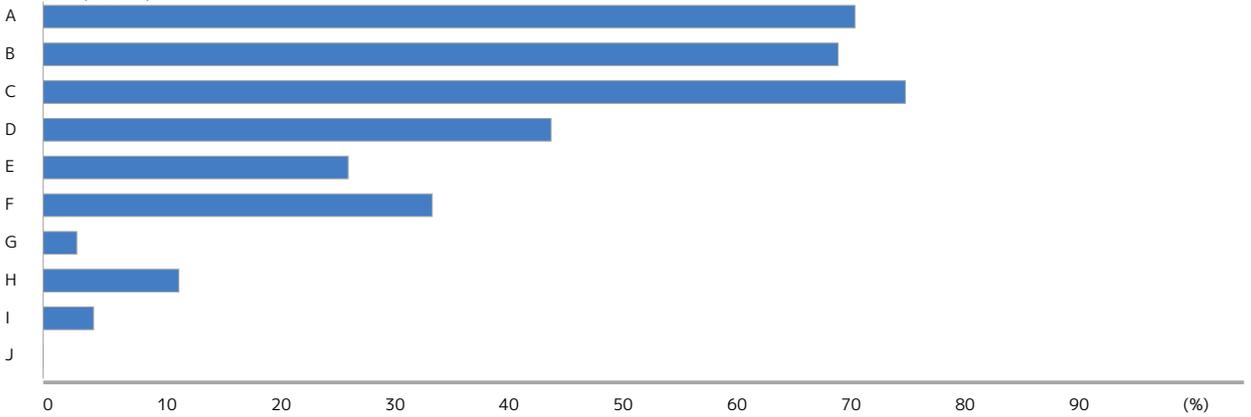


- (Q.06) 4月以降の進路についてお聞きします。
- A: 博士課程進学（他大学も含む）(33票/46.5%)
 - B: 博士課程進学の準備 (2票/2.8%)
 - C: 一般企業に就職 (26票/36.6%)
 - D: 官庁、地方自治体等に就職 (1票/1.4%)
 - E: 教員、司書等の専門職に就職 (4票/5.6%)
 - F: その他 (1票/1.4%)
 - G: 無回答 (4票/5.6%)



(Q.07) 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください。（複数回答可）

- A: 専門的知識 (48票/67.6%)
- B: 専門分野の研究能力 (47票/66.2%)
- C: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (51票/71.8%)
- D: 一般的な教養 (30票/42.3%)
- E: 国際感覚 (18票/25.4%)
- F: 外国語の能力 (23票/32.4%)
- G: リーダーシップ (2票/2.8%)
- H: 社会的常識 (8票/11.3%)
- I: その他 (3票/4.2%)
- J: 無回答 (0票/0%)



(Q.08) 差し支えなければ、あなたが属していた専攻を教えてください。（国際連携文化越境専攻の方は回答していただく必要はありません。）

- A: 東洋文献文化学 (9票/12.7%)
- B: 西洋文献文化学 (13票/18.3%)
- C: 思想文化学 (13票/18.3%)
- D: 歴史文化学 (14票/19.7%)
- E: 行動文化学 (13票/18.3%)
- F: 現代文化学 (7票/9.9%)
- G: 無回答 (2票/2.8%)



(Q.09) 以下、Q.09からQ.12で、文学研究科のディプロマポリシーに関してお伺いします。以下の項目についてどの程度達成できたか教えてください。

哲学・歴史学・文学・行動科学のそれぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。

- A: 達成できた (11票/15.5%)
- B: ある程度達成できた (36票/50.7%)
- C: どちらとも言えない (16票/22.5%)
- D: あまり達成できなかった (4票/5.6%)
- E: 達成できなかった (4票/5.6%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.10) それぞれの専門分野において、原典や一次資料の分析に基づいてオリジナリティを有する研究を進める能力を身につけている。

- A: 達成できた (20票/28.2%)
- B: ある程度達成できた (34票/47.9%)
- C: どちらとも言えない (9票/12.7%)
- D: あまり達成できなかった (3票/4.2%)
- E: 達成できなかった (4票/5.6%)
- F: 無回答 (1票/1.4%)



(Q.11) 専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

- A: 達成できた (22票/31%)
- B: ある程度達成できた (39票/54.9%)
- C: どちらとも言えない (6票/8.5%)
- D: あまり達成できなかった (1票/1.4%)
- E: 達成できなかった (2票/2.8%)
- F: 無回答 (1票/1.4%)



(Q.12) 研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

- A: 達成できた (16票/22.5%)
- B: ある程度達成できた (22票/31%)
- C: どちらとも言えない (8票/11.3%)
- D: あまり達成できなかった (16票/22.5%)
- E: 達成できなかった (8票/11.3%)
- F: 無回答 (1票/1.4%)



(Q.13) その他意見・要望がありましたら、ご自由にお書きください。